

2020 年度

環境経営レポート（再改定版）

（取組期間：2021 年 1 月～2021 年 3 月）

改定日：2021 年 5 月 28 日

再改定日：2021 年 7 月 28 日

- ・登録審査での指摘を反映しました。
- ・環境経営目標の達成率の考え方を追記しました。
- ・誤記部分を訂正しました。

以上の部分に下線を引きました。

株式会社クリーンシステム

〒990-0845 山形市飯塚町字中河原 1629-5

TEL (023) 644-2228 FAX (023) 644-7010

目次

	ページ
1. 環境経営方針	3
2. 組織概要	4
2-1. 組織名、代表者名、事業所名、及び所在地	4
2-2. 事業概要	4
2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先	4
2-4. 認証・登録範囲及び対象取組期間	4
3. 環境経営目標とその実績・評価並びに中長期目標	5
3-1. 環境経営目標(2021.1-3)の実績と評価	5
3-2. 環境経営目標(2021.1-3)の実績と評価のまとめ	5
3-3. <u>中長期環境経営目標の設定(2020年度から2020年度)</u>	<u>6</u>
3-4. <u>中長期環境経営目標の設定(2021年度から2024年度)</u>	<u>6</u>
4. 環境経営計画に基づき実施した取組内容・評価など	<u>7</u>
4-1. 主な取り組み内容と取組結果並びに次年度の取組内容	<u>7</u>
4-2. 次年度以降の取組の概要	<u>8</u>
4-3. 実施体制	8
5. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価結果、並びに違反・訴訟の有無	9
5-1. 当社が遵守すべき主な環境関連法規等	9
5-2. 法令等の違反、訴訟の有無	<u>10</u>
6. 代表者による全体の評価と見直し・指示	10
7. 産業廃棄物処理業としての公開情報	<u>11</u>
7-1. 収集運搬業者としての情報公開	<u>11</u>
7-2. 処分業者としての情報公開	<u>12</u>
7-3. 許可の状況	<u>14</u>
7-4. 受託した産業廃棄物・一般廃棄物の処理実績	<u>15</u>

1. 環境経営方針

企業理念

われわれは、当社の業務を通し、現在の豊かな自然環境を次代に継承していくため、創造性を発揮した発展と成長の考えの下、エコアクション 21 を構築・運用することにより、積極的に脱炭素社会への貢献に努めます。

重点方針

1. エネルギーの利活用

CO₂ 排出量削減・気候変動対応に即するため、省資源・省エネルギーはもとより、再生可能エネルギーの利活用を図ります。

2. 環境経営目標の設定

環境経営方針を達成するため、技術的、経済的に可能な範囲で環境経営目標を設定し、必要に応じ見直しするなど、環境経営の継続的な向上に努めます。

3. 環境関係法規制等の順守

環境関連の法律・規則・条例等を遵守し、環境に悪影響を及ぼす物質の排出抑制、環境汚染の未然防止に努めます。

4. 持続可能な循環型社会の構築

サーキュラーエコノミー（循環型経済）の実現に寄与するため、ステークホルダーとのコミュニケーションを推進し、リサイクル製品の普及はもとより研究開発に努めます。

5. 社会への貢献

CSR 活動及び SDGs の推進により、地域社会と融合した次世代クリーンシステムを構築するほか、ホームページでは廃棄物処理や資源循環等についても積極的に情報公開致します。

この環境方針は文書化し、全従業員に周知するとともに、社外に公表しその達成に努めます。

制定 2004 年 8 月 12 日

改定 2021 年 5 月 25 日

株式会社クリーンシステム
代表取締役 鈴木 隆

2. 組織概要

2-1. 組織名、代表者名、事業所名、及び所在地

- 組織名 : 株式会社クリーンシステム
- 代表者名 : 代表取締役 鈴木 隆
- 事業所名及び所在地 :
 - 本社 〒990-0845 山形県山形市飯塚町字中河原 1629-5
 - 関東支店 〒277-0804 千葉県柏市新十余二 7-8
 - CSR ステーション 〒990-2351 山形県山形市鑄物町 6

2-2. 事業概要

- 廃棄物処理業
一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬及び処分、特別管理産業廃棄物の収集運搬
- 廃棄物リサイクル品の製造
- 特定建設業
山形県知事許可 特-30 第 100974 号(土木工事業、とび・土工工事業、解体工事業)

- 法人設立年月日 : 1972 年 2 月 (有限会社 山形建物解体工務店)
- 資本金 : 50,000,000 円
- 売上高 : 2,782,000,000 円 (2020 年 4 月-2021 年 3 月)

2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者 : 取締役営業本部長 金澤 忠治
- 連絡担当者 : 生産部次長 (EA21 事務局長) 伊藤 孝典

2-4. 認証・登録範囲及び対象取組期間

- 認証・登録範囲 : 全組織・全活動
- 対象取組期間 : 2021 年 1 月~2021 年 3 月
次回の対象取組期間は、2021 年度(2021 年 4 月~2022 年 3 月)の予定

3. 環境経営目標とその実績・評価並びに中長期目標

3-1. 環境経営目標(2021.1-3)の実績と評価

化学物質の使用は環境経営目標に含めていませんでした。

達成状況の評価は、達成率を達成結果(00%減)/目標値(00%減)とし、◎～×で行いました。

◎…達成率 120%超、○…達成率 80-120%、△…達成率 50-80%未満、×…達成率 50%未満、他

表-3-1 環境経営目標(2021.1-3)の実績と評価(全社)

	2019年度実績 (2020.1-3) (基準値)	2021年1月～2021年3月				評価
		目標	実績	達成状況		
C02排出量	504,712 kg-C02	基準値比 1%減	499,665	542,823	7.6%増	×
・電気使用量	429,698kWh	基準値比 1%減	425,401	530,691	23.5%増	×
・軽油使用量	99,936L	基準値比 1%減	98,937	94,920	5.0%減	◎
・ガソリン使用量	8,135L	基準値比 1%減	8,054	7,933	2.5%減	◎
・灯油使用量	2,645L	基準値比 1%減	2,618	2,271	14.1%減	◎
・LPG使用量	318kg	基準値比 1%減	315	541	70.1%増	×
水使用量	データなし	実績把握	—	60,727	—	—
・上水使用量	425 m ³	基準値同等	425	408	4.1%減	○
・地下水使用量	データなし	実績把握	—	60,319	—	—
廃棄物排出量	データなし	実績把握	—	2,485,776	—	—
・一般廃排出量	データなし	実績把握	—	780	—	—
・産廃排出量	データなし	実績把握	—	2,484,996	—	—
・建設廃棄物 リサイクル率アップ ^o	55wt%	基準値比 1%増	55.6	27.3	50%減	×
受託産業廃棄物の リサイクル率	(本社)86.4wt%	基準値比 1%増	87.3	87.2	0.9%増	○
	(関東)84.7wt%	基準値比 1%増	85.5	85.5	0.9%増	○
物損事故件数	2件	—	2件以下	5	150%増	×
地域貢献活動の実施	2件	基準値同等	2件	2	±0%	○

電力のC02排出係数は、まち未来製作所、東北電力(解体現場のみ)のH30年度調整後排出係数(R2.1.7公表)を使用しました…0.513(0.528)kg-C02/kWh

3-2. 環境経営目標(2021.1-3)の実績と評価のまとめ

電気使用量が大幅増となったためC02排出量も増加しました。

2020年4月に、選別施設の増強及び圧縮梱包機の導入を行ったことと、RPF、木質チップの製造量が多かったためと判断しています。

運用期間が3か月と短いため、CO2排出量の目標未達については是正を行いませんが、物損事故目標の未達は、是正処置により達成に向けた新規計画を検討・実施して行きます。

3-3. 中長期環境経営目標の設定（2020年度から2023年度）

表-3-2

項目	基準値	中長期計画			
	2020年 1-3月	2021年 1-3月	2021年度 (4-2022.3)	2022年度 (4-2023.3)	2023年度 (4-2024.3)
CO2排出量 kg-CO2	504,7124	基準値比 1%削減	基準値比 2%削減	基準値比 3%削減	基準値比 4%削減
水使用量 m ³	データなし	実績把握	2021年1-3月同等		
廃棄物排出量 kg	データなし	実績把握	2021年1-3月 比 1%減	2021年1-3月 比 2%減	2021年1-3月 比 3%減
建設廃棄物のリ サイクル率 wt%	55.0	基準値比 1%増	基準値比 2%増	基準値比 3%増	基準値比 4%増
受託廃棄物のリ サイクル率 wt%	生産部 86.4 関東 84.7	基準値比 1%増	基準値比 2%増	基準値比 3%増	基準値比 4%増
物損事故件数	2件	2件以下	2020年1-3月同等		
地域貢献活動の 実施	2件	2件	2020年1-3月同等		

3-4. 中長期環境経営目標の設定（2021年度から2024年度）

環境経営目標(2021.1-3)の実績と評価を受けて、中長期環境経営目標を見直しました。
又、登録審査で指摘を受け、化学物質の使用に関する環境経営目標を設定しました。

表-3-3

項目	基準値	中長期計画			
	2020年度 (4-2021.3)	2021年度 (4-2022.3)	2022年度 (4-2023.3)	2023年度 (4-2024.3)	2024年度 (4-2025.3)
CO2排出量 kg-CO2	2,101,144	基準値比 0.5%削減	基準値比 1.5%削減	基準値比 1.7%削減	基準値比 2.0%削減
水使用量 m ³	データなし	実績把握	2021年度同等	2021年度同等	2021年度同等
廃棄物排出量kg	データなし	実績把握	2021年度比 0.3%減	2021年度比 0.6%減	2021年度比 0.9%減
建設廃棄物のリ サイクル率 wt%	38	基準値比 0.3%増	基準値比 0.6%増	基準値比 0.9%増	基準値比 1.2%増
化学物質使用の 適正管理 kg	17.6	基準値同等			
受託廃棄物のリ サイクル率 wt%	生産部 87.2 関東 85.5	基準値比 0.3%増	基準値比 0.6%増	基準値比 0.9%増	基準値比 1.2%増
物損事故件数	18	10件以下	2021年度同等	2021年度同等	2021年度同等
地域貢献活動の 実施	20	22件	2021年度同等	2021年度同等	2021年度同等

4. 環境経営計画に基づき実施した取組内容・評価など

4-1. 主な取組内容と取組結果並びに次年度の取組内容

表-4-1

項目		主な活動内容（2021年1-3月）	評価	次年度の新たな取組
CO2 排出量	電気使用量	<ul style="list-style-type: none"> ・クールビズ、ウォームビズの実施（室内温度 冷房 28℃程度、暖房 22℃程度） ・生産/処理効率向上 ・デマンド監視によるピークシフト ・新管理棟は ZEB（LED 照明、高効率機器の採用、建物の断熱性向上） ・照明、空調機の定期点検、維持管理 	○	太陽光発電設備の設置
	軽油、ガソリン使用量	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの促進（急発進・急加速の排除、アイドリングストップの実施） ・エコカー等の導入 ・重機の作業効率改善 ・作業効率の良い配車 ・業者委託及び社内です定期点検を実施 	○	
	灯油、LPG 使用量	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な作業計画（F/L） ・暖房時の室温管理（冬季間） ・適切な温水管理 	○	新管理棟で灯油不使用
水 使用量	上水使用量	<ul style="list-style-type: none"> ・蛇口の工夫、バルブの調整による水量調節（コロナ等感染症流行時は除く） ・洗車ガン付きホースの使用 	○	
	地下水使用量	散水状態の管理	○	
廃 棄 物 排 出 量	一般廃棄物、産業廃棄物排出量（建廃を除く）	<ul style="list-style-type: none"> ・社内 LAN 等による会議資料・事務書類の電子化・簡素化 ・電子メールを活用 ・廃棄物の分別徹底 ・トナーカートリッジの回収ルートの確立 	○	
	建設廃棄物リサイクル率アップ	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の分別徹底 ・クレームによる再工事を防止するため、施工の品質管理を実施 	○	
化学物質使用の適正管理		なし	—	<ul style="list-style-type: none"> ・塗料等の数量管理 ・代替品の調査、検討
受託廃棄物のリサイクル率		<ul style="list-style-type: none"> ・受託廃棄物の搬入管理を実施 ・選別工程での残渣率減少 ・中間処理後廃棄物のリサイクル推進 ・焼却物の RPF 化の検討 	○	
物損事故削減		<ul style="list-style-type: none"> ・KYT の実施 ・ヒヤリハットの提出、対策 ・週間重点目標の設定・KYT の実施 ・安全パトロール ・ドライバー日誌情報、関連写真提出 ・職長会議の定期開催 ・指差し呼称の完全実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・生産部各チームで役割（安全、備品、…）を決め一人一人の安全意識を高める ・解体事業部では、ヒヤリハット1件/月人の目標及び班毎に毎日終礼でヒヤリハットの対策を協議
地域貢献活動の実施		<ul style="list-style-type: none"> ・献血活動の実施 ・エコキャップ、フルダブの回収（社会貢献に活用） 	○	災害時非常電源による給油共同訓練

評価基準：○…評価できる、△…まずまず評価できる、×…評価できない

4-2. 次年度以降の取組の概要

次年度以降も、基本的には今年度の活動計画を中心に取り組みます。

新管理棟を2021年3月に使用開始したため、ZEBの省エネ効果は次年度以降に表れます。

更に、2021年秋季にZEBの一環として新たに太陽光発電設備を設置します。

昨年初めて実施した地元の皆様との、災害時非常電源による給油共同訓練を継続します。

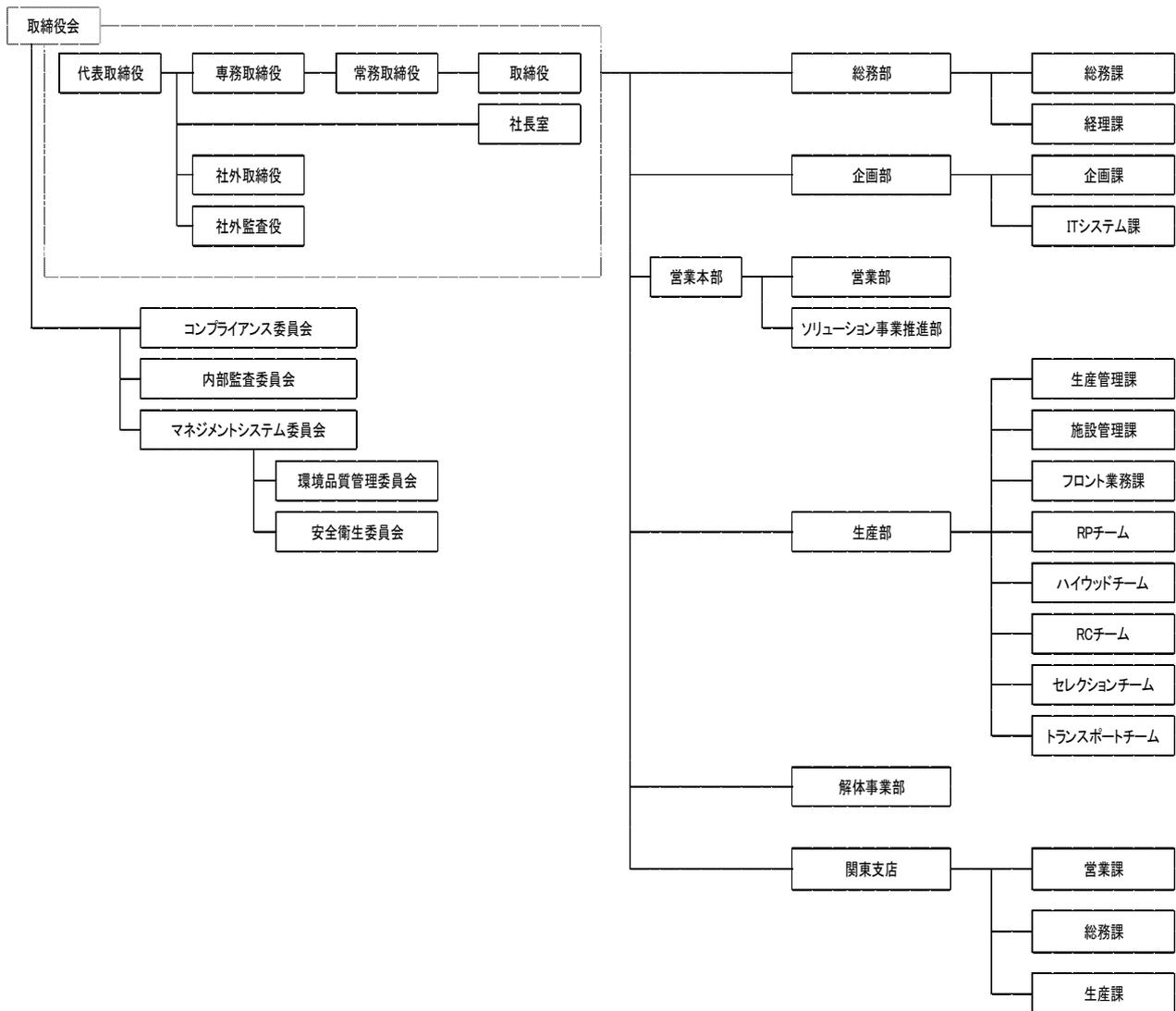
昨年度目標を達成できなかった物損事故削減のために、新たな対策（活動）を取ります。

審査での指摘を受け、2021年度以降の取組として化学物質の管理を環境経営計画に加えしました。

4-3. 実施体制

4-3-1. 産業廃棄物処理業者としての組織図

2021年4月1日現在

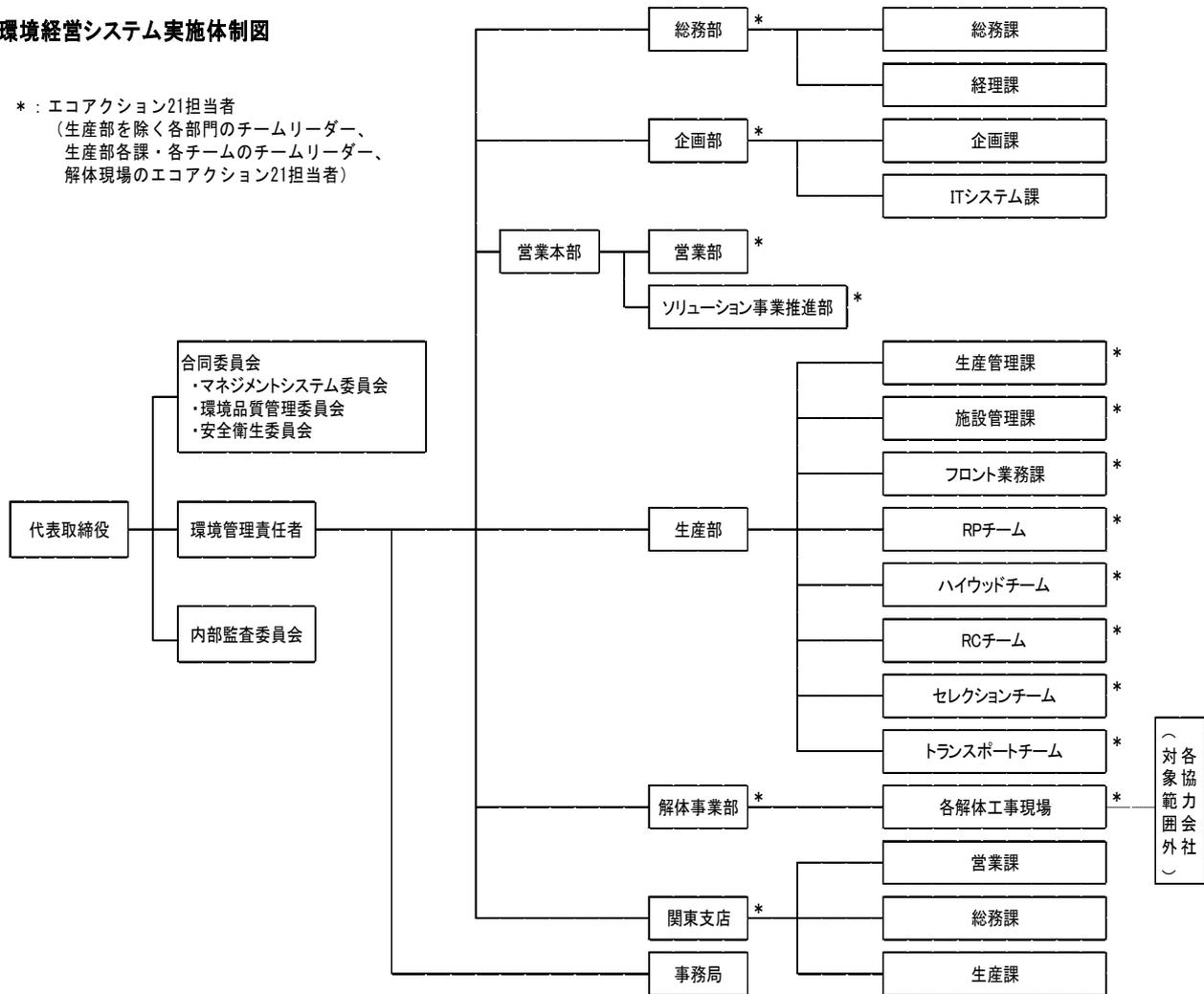


4-3-2. EA21 実施体制

2021年1月1日現在

環境経営システム実施体制図

* : エコアクション21担当者
 (生産部を除く各部門のチームリーダー、
 生産部各課・各チームのチームリーダー、
 解体現場のエコアクション21担当者)



5. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価結果、並びに違反・訴訟の有無

5-1. 当社が遵守すべき主な環境関連法規等

表 5-1

環境関連法規等の名称	主な遵守すべき内容	遵守状況
労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就業制限 (移動式クレーン : 1 t 以上、玉掛け : 1 t 以上、ガス溶接、フォークリフト : 1 t 以上、重機) ・ 定期自主検査 (天井クレーン、移動式クレーン、重機) 	○
廃棄物処理法 (山形県条例) (秋田県条例)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収集運搬/処分契約 (排出事業者/廃棄物処理業者、解体工事を含む) ・ マニフェスト管理 (回付管理、帳簿の備付、交付状況報告、等) ・ 実績報告 (産廃/一廃処理状況報告、多量排出事業者) ・ 廃棄物の保管基準、表示の管理 ・ 県外産業廃棄物処分に関する事前協議 	○
建設リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 請負契約、発注者への報告 ・ 分別解体、再資源化 	○

表 5-1 続き

環境関連法規等の名称	主な遵守すべき内容	遵守状況
消防法 (危険物に関する政令、山形市火災予防条例)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 軽油・ガソリン地下タンクの管理 ・ 指定可燃物(再生資源燃料、紙くず、木くず、合成樹脂)の管理 ・ 少量危険物庫、灯油タンクの管理 	○
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一種特定製品(エアコン等)の点検及び記録の製品廃棄後3年保管 ・ 第一種特定製品廃棄時の回収依頼書(A票)、引取証明書(E票)の3年保管 ・ 解体工事では、元請業者からの第一種特定製品の事前確認書面を3年保管 ・ 第一種特定製品引取り時の引取証明書(E票)の確認、3年保管 ・ 二次事業者への引渡し時の引取証明書(E票)コピーの提出 	○
浄化槽法	浄化槽の維持管理(保守点検、清掃、11条検査、等)	○
山形市との公害防止協定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大気汚染防止法等に係る基準の順守 ・ 敷地境界における水質、騒音、振動、臭気の測定及び報告 	○

5-2. 法令等の違反、訴訟の有無

2020年度に関し、環境関連法規等の遵守状況を確認したところ、違反はありませんでした。又、関係当局からの違反等の指摘・指導、及び環境関連訴訟もありませんでした。外部からの苦情・要望等に対しては、コミュニケーション記録を作成し、対応しました。

6. 代表者による全体の評価と見直し・指示

〈総評〉 私たち企業に要求されている持続可能な低炭素社会の実現は、日々のライフスタイルをより細かに分析し、目標に向かって尽力することにあります。EA21による活動の活性化を期待します。

〈見直し結果〉

1. 環境経営方針の変更の必要性……
2021年1月に改定しており、変更の必要はないが、より良い表現を検討する。
2. 環境経営目標及び環境経営計画が、達成・実施されていない場合の処置……
今回は3か月みの活動でありトライアルの意味もあるため、2021年の達成状況を分析評価すること。
3. 実施体制の変更の必要性……変更の必要なし。
4. その他……なし。

2021年5月6日
株式会社クリーンシステム
代表取締役 鈴木 隆

7. 産業廃棄物処理業としての情報公開 (2019 年度の情報)

7-1. 収集運搬業者としての情報公開

・ 運搬車両の種類と台数

表 7-1

車種	積載量	台数	車種	積載量	台数
アームロール車	4 t	4 台	ダンプ車	3 t	1 台
	6 t	5 台		4 t	2 台
	12 t	2 台		6 t	2 台
小型移動式クレーン車	2 t	3 台		10 t	2 台
	4 t	2 台	パッカー車	6 t	2 台
	6 t	5 台		10 t	1 台
	8 t	1 台	ウイング車	12t	2 台
	12 t	1 台	その他(軽車両等)	—	2 台
ダンプ車	2 t	1 台	合計	—	38 台

・ 積替え保管施設の面積、保管上限量

1) 産業廃棄物の種類：ゴムくず

施設の所在地：山形県山形市飯塚町字中河原 1629 番地の 5
 施設の面積：2.6 m²
 保管上限量：2.0 m³
 積上高さ：1.0 m (容器)

2) 産業廃棄物の種類：石綿含有産業廃棄物(廃プラスチック類、がれき類、ガラスくず等、金属くず)

施設の所在地：山形県山形市飯塚町字中河原 1629 番地の 5
 施設の面積：2.6 m²
 保管上限量：2.0 m³
 積上高さ：1.0 m (容器)

3) 産業廃棄物の種類：水銀使用製品産業廃棄物(廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等)

施設の所在地：山形県山形市飯塚町字中河原 1629 番地の 5
 施設の面積：3.5 m²
 保管上限量：2.9 m³
 積上高さ：2.0 m (屋内)

4) 産業廃棄物の種類：廃乾電池(汚泥、金属くず)

施設の所在地：山形県山形市飯塚町字中河原 1629 番地の 5
 施設の面積：1.3 m²
 保管上限量：0.2 m³
 積上高さ：1.0 m (容器)

7-2. 処分業者としての情報公開

・産業廃棄物の処理施設の概要

表7-2-1 本社

施設の種類	設置場所	設置年月日	処理する産業廃棄物の種類	処理能力	処理方式	構造及び設備の概要
木くずの破碎施設	山形市飯塚町字中河原1629番地の5	1992/12/10	木くず	200t/日・8時間	破碎 ・スイングハンマー方式	・MHM-300BH(250kW) ・キングシュレッダSK200C型(190kW) ・二軸破碎機(22kW×2) ・磁選機 ・金属検知器 ・チップサイロ(飛散・発じん防止) ・集じん装置(粉じん飛散防止)
廃プラスチック類の破碎施設及び減容固化施設	山形市飯塚町字中河原1629番地の5	2006/9/1	廃プラスチック類 紙くず 繊維くず 木くず	破碎 54.6t/日・12時間 減容固化 43.7t/日・12時間	破碎 ・一軸せん断破碎 減容固化 ・押出し成型方式	・破碎機(250kW、75kW) ・成形機(400kW) ・散水ノズル(発じん防止) ・集塵設備(スクラパー式)
分離施設	山形市飯塚町字中河原1629番地の5	2007/1/1	廃プラスチック類 紙くず	1.3t/日・8時間	切断 ・巻取方式	・リワインダーマシン
切断施設	山形市飯塚町字中河原1629番地の5	2006/3/1	廃プラスチック類 紙くず	3.8t/日・8時間	切断 ・切断方式	・多目的油圧切断機
選別施設	山形市飯塚町字中河原1629番地の5	2020/3/24	廃プラスチック類 紙くず、木くず 金属くず がれき類 ガラスくず等 繊維くず、汚泥	320m ³ /日・8時間	選別 ・選別装置 (反発式)	・選別装置(9.2kW) ・集塵機(5.5kW) ・エプロンコンベア(5.5kW) ・風力選別機(27.8kW) ・風力選別機(3.7kW)
がれき類の破碎施設	山形市飯塚町字中河原1629番地の5	2018/8/30	がれき類	800t/日・8時間	破碎 ・圧縮破碎方式	・ジョークラッシャー(75kW) ・磁選機 ・遮音壁(破碎音拡散防止) ・散水設備(粉じん対策) ・塀(処理物の敷地外への流出防止) ・ラバスクリーン(騒音防止)
廃プラスチック類の破碎施設及び木くず又はがれき類の破碎施設	山形市飯塚町字中河原1629番地の5	2020/2/1	廃プラスチック類 紙くず、繊維くず 木くず、金属くず がれき類 ガラスくず等	破碎 249.6t/日・12時間	破碎 ・二軸せん断破碎	・二軸破碎機(200kW) ・磁選機 ・排出コンベア
圧縮梱包施設	山形市飯塚町字中河原1629番地の5	2020/2/25	廃プラスチック類 紙くず、木くず 繊維くず 金属くず ガラスくず等	370.9t/日・12時間	圧縮梱包 ・油圧マルチジャン ボプレス機	・圧縮梱包機(37kW×2) ・投入コンベア ・ラッピング機

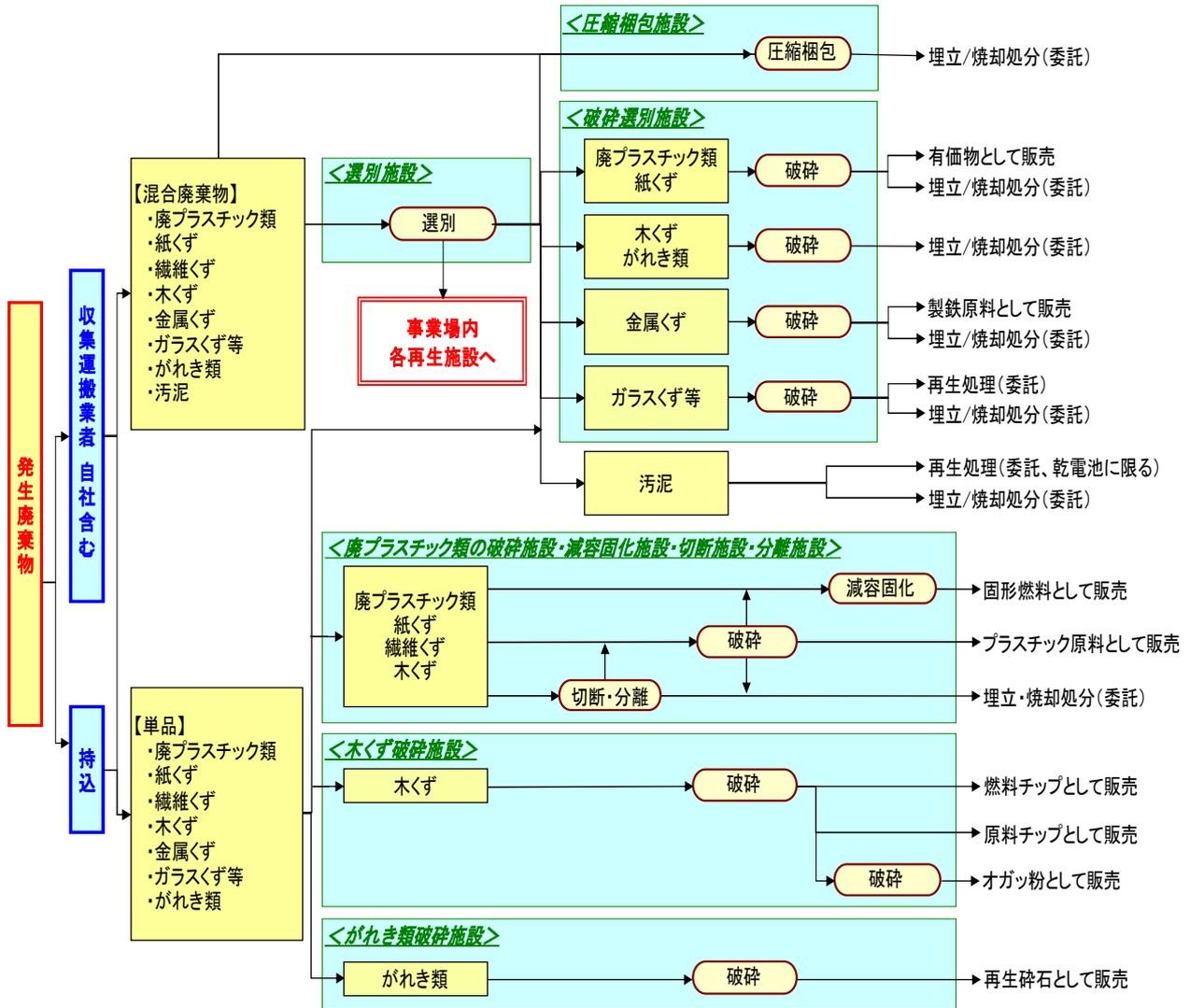
表7-2-2 関東支店

施設の種類	設置場所	設置年月日	処理する産業廃棄物の種類	処理能力	処理方式	構造及び設備の概要
廃プラスチック類及び木くず又はがれき類の破碎施設	柏市新十番地8, 7番地14	2012/1/18	廃プラスチック類	67.2t/日・24時間	破碎機 ・1軸せん断破碎	・破碎機(150kW) ・磁選機 ・投入コンベア
			紙くず	67.2t/日・24時間	〃	〃
			木くず	84.0t/日・24時間	〃	〃
			繊維くず	40.8t/日・24時間	〃	〃
			金属くず	86.4t/日・24時間	〃	〃
ガラスくず等	93.6t/日・24時間	〃	〃			
圧縮施設	柏市新十番地8, 7番地14	2020/3/24	廃プラスチック類	72.0t/日・24時間	圧縮梱包機 ・油圧式縦押圧縮減容機	・圧縮梱包機 ・油圧ユニット ・結束機 ・排出ローコンベア
			紙くず	84.0t/日・24時間	〃	〃
			繊維くず	86.4t/日・24時間	〃	〃
			ガラスくず等	84.0t/日・24時間	〃	〃

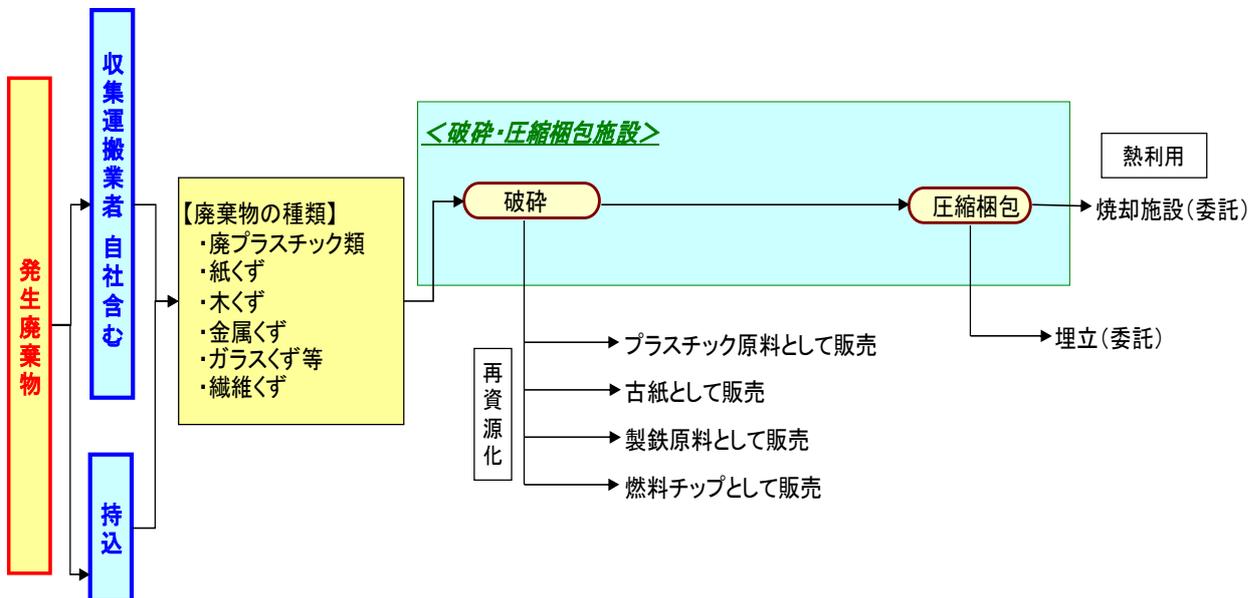
・ 処理工程図

事業場ごとの産業廃棄物の処理工程図

本社 山形県山形市飯塚町字中河原1629番地の5



関東支店 千葉県柏市新十倉二7番地8



7-3. 許可の状況

表 7-3-1 産業廃棄物に関連する許可の状況

許可名称、事業区分	届出先	許可番号	許可、有効年月日	廃棄物の種類 (*1)
産業廃棄物収集運搬業(優良)	山形県	00601008236	自 H31. 3. 27 至 R8. 3. 26	① ~⑩、⑫~⑯、⑰、⑳~㉔
	岩手県	00300008236	自 H28. 3. 7 至 H35. 3. 6	① ~③、⑥~⑩、⑫~⑯、⑰
	宮城県	00400008236	自 H27. 11. 19 至 H34. 11. 18	① ~⑩、⑫~⑯、⑰
	秋田県	00505008236	自 H28. 2. 18 至 H35. 2. 17	①~③、⑥~⑩、⑫~⑯、⑰
	山形市	13011008236	自 H31. 3. 27 至 R8. 3. 26	①~⑩、⑫~⑯、⑰、⑳~㉔
	福島県	00707008236	自 H28. 5. 25 至 H35. 5. 12	①~⑥、⑧、⑩、⑬、⑭、⑯、⑰
	栃木県	00900008236	自 H27. 2. 18 至 H34. 2. 17	①~⑨、⑫~⑯、⑰
	群馬県	01000008236	自 R2. 12. 4 至 R9. 12. 3	①~⑩、⑫~⑭、⑯、⑰
	埼玉県	01101008236	自 H28. 7. 20 至 H35. 7. 4	①~⑩、⑬、⑰
	千葉県	01200008236	自 R1. 12. 10 至 R8. 10. 21	②、③、⑥~⑩、⑫~⑭、⑯
新潟市	05902008236	自 H28. 11. 19 至 H35. 11. 18	②、③、⑥~⑨、⑭、⑯	
産業廃棄物収集運搬業	茨城県	00801008236	自 R1. 7. 8 至 R6. 7. 7	① ~⑩、⑫~⑯、⑰
特別管理産業廃棄物収集運搬業(優良)	山形県	00651008236	自 R3. 4. 21 至 R10. 4. 2	廃油、廃酸、廃アルカリ、PCB等、PCB汚染物、廃石綿、燃え殻、ばいじん
特別管理産業廃棄物収集運搬業	宮城県	00450008236	自 R1. 12. 23 至 R6. 12. 22	PCB等、PCB汚染物
	群馬県	01050008236	自 H31. 3. 7 至 H36. 3. 6	
産業廃棄物処分業(優良)	山形市	00450008236	自 R1. 12. 23 至 R6. 12. 22	・ 破碎処分：⑥~⑨、⑬、⑭、⑯ ・ 切断処分：⑥、⑦ ・ 選別処分：①、⑥~⑨、⑬、⑭、⑯ ・ 分離処分：⑥、⑦
	柏市	11120008236	自 H29. 2. 9 至 H36. 1. 29	・ 破碎処分：⑥~⑨、⑬、⑭ ・ 圧縮処分：⑥、⑦、⑨、⑭

(*1) ①燃え殻 ②汚泥 ③廃油 ④廃酸 ⑤廃アルカリ ⑥廃プラスチック類 ⑦紙くず
⑧木くず ⑨繊維くず ⑩動植物性残渣 ⑪動物系固形不要物 ⑫ゴムくず ⑬金属くず
⑭ガラスくず等 ⑮鉱さい ⑯がれき類 ⑰動物のふん尿 ⑱動物の死体 ⑲ばいじん
⑳政令第2条第13号に規定の産業廃棄物 ㉑自動車等破碎物 ㉒石綿含有産業廃棄物
㉓水銀使用製品産業廃棄物 ㉔水銀含有ばいじん等
廃棄物の種類に関し、積替え保管などの詳細は許可証をご確認下さい。

表 7-3-2 一般廃棄物に関連する許可の状況

許可名称、事業区分	届出先	許可番号	許可、有効年月日	廃棄物の種類 (*1)
一般廃棄物収集運搬業	山形市	山形市指令廃第 49-33	自 R2. 4. 1 至 R4. 3. 31	ごみ
	中山町	11	自 R2. 10. 10 至 R4. 10. 9	ごみ
一般廃棄物処分業 (破碎、減容固化)	山形市	山形市指令廃第 50-4	自 R2. 4. 1 至 R4. 3. 31	木くず、コンクリート類、ガラス、陶磁器くず、紙くず、廃プラスチック類、金属くず

(*1 廃棄物の種類の詳細は許可証をご確認下さい。

7-4. 受託した産業廃棄物・一般廃棄物の処理実績 2020 年度 (2020 年 4 月～2021 年 3 月)

・産業廃棄物 (特管物を含む) 収集運搬量

表 7-4-1

廃棄物の種類	収集運搬量 (t)	廃棄物の種類	収集運搬量 (t)
燃え殻	340.45	がれき類	11,369.40
汚泥	270.92	石綿含有廃プラスチック類	4.17
廃油	16.95	石綿含有金属くず等	1.35
廃アルカリ	2.59	石綿含有ガラスくず等	89.20
廃プラスチック類	8,850.81	石綿含有がれき類	0.88
紙くず	333.91	廃油 (特管物)	0.16
木くず	2,268.30	廃酸 (特管物)	0.17
繊維くず	6.68	廃アルカリ (特管物)	0.10
金属くず	1,069.52	PCB (特管物)	16.05
ガラスくず等	2,506.98	廃石綿 (特管物)	0.63
鋳さい	11.11	合計	27,160.32

・産業廃棄物中間処理量

表 7-4-2

廃棄物の種類	処分方法	処分量 (t)	廃棄物の種類	処分方法	処分量 (t)
廃プラスチック類	破碎	2,836.32	繊維くず	減容固化	12.36
	減容固化	6,945.42		破碎・圧縮梱包	113.11
	分離	190.63	金属くず	選別	0.25
	破碎・圧縮梱包	6,171.21		破碎	1,424.45
紙くず	破碎	0.83	ガラスくず等	選別	255.30
	減容固化	873.53		破碎	4,675.33
	破碎・圧縮梱包	609.55		破碎・圧縮梱包	26.00

表 7-4-2 続き

廃棄物の種類	処分方法	処分量 (t)	廃棄物の種類	処分方法	処分量 (t)
木くず	選別	16.47	がれき類	破碎	25,241.90
	破碎	6,542.10	汚泥	選別	1.55
繊維くず	破碎	0.51	合計	—	55,936.83

・ 一般廃棄物収集運搬量

表 7-4-3

廃棄物の種類	収集運搬量 (t)
可燃	454.47
不燃	67.33
合計	521.80

・ 一般廃棄物中間処理量

表 7-4-4

処分方法	処分量 (t)	廃棄物の種類
破碎 (可燃)	367.35	木くず・廃プラ・紙くず
破碎 (不燃)	116.14	ガラ陶・コンクリート類・金属
減容固化 (可燃)	280.00	廃プラ・紙くず
合計	763.49	—